

目 次

はじめに	1
第1章 環境研究センターの概要	
1・1 沿革	9
1・2 施設の概要	10
1・3 位置図	11
1・4 組織と業務	12
第2章 業務概要	
2・1 総務企画情報課	13
2・2 大気騒音振動研究室	19
2・3 廃棄物・化学物質研究室	21
2・4 水質地質部	
2・4・1 水質環境研究室	22
2・4・2 地質環境研究室	25
第3章 啓発事業、学会発表等	
3・1 啓発事業	27
3・2 学会発表	38
3・3 論文等の発表	42
3・4 報告書等の執筆、発行	45
3・5 インターンシップ等による研修生の受け入れ	46
3・6 国際協力のための職員派遣	47

第4章 調査報告編

◎ プロジェクト研究

- 消費生活に密接した温室効果ガス排出量削減へ向けた手法の検討
 - ー「フードマイレージ」を指標としてー…………… 79
- 身近な温暖化対策検討事例
 - ーフードマイレージを指標としたライフ・スタイルの見直しー…………… 170
- 地球温暖化がもたらす日本沿岸域の水質変化とその適応策に関する研究（その2）…………… 101
- 2100年九十九里平野中部における1975年～2100年の累積沈下予測
 - ー海面上昇・高潮・津波と地盤の沈下の影響把握ー…………… 128
- 九十九里平野中部における上ガスの分布と地質環境
 - ー東金市南東部の調査結果からー…………… 132
- 千葉県内の市町村別CO₂排出量の推定…………… 211

4・1 大気環騒音振動研究室

- (1) 千葉県における2009年の光化学オキシダントについて…………… 49
- (2) 光化学オキシダントと粒子状物質等の汚染特性解明に関する研究ー2009年度
(国立環境研究所と地方環境研究所とのC型共同研究)…………… 51
- (3-1) 固定発生源周辺における大気中揮発性有機化合物の自動連続測定
 - ー市原市岩崎西における測定ー…………… 53
- (3-2) 千葉県における大気中含酸素揮発性有機化合物について…………… 55

(3-3)	化学物質大気環境調査	5 7
(3-4)	富津下飯野周辺における大気環境中のベンゼンに係る緊急実態調査	5 9
(3-5)	大気中の化学物質環境実態調査(環境省委託)	6 1
(4)	清浄地域における浮遊粒子状物質について	6 3
(5)	関東浮遊粒子状物質共同調査	6 5
(6)	酸性雨調査	6 7
(7)	窒素化合物影響調査	6 9
(8)	ばい煙発生施設の排出基準等に係る立入検査	7 1
(9)	揮発性有機化合物排出施設の排出基準等に係る立入検査	7 2
(10)	特定粉じん(アスベスト)に関する調査研究	7 3
(11)	VOC対策アドバイス制度	7 4
(12)	道路沿道地域における微小粒子の実態把握に関する調査研究(①PM _{2.5})	7 5
(13)	道路沿道地域における微小粒子の実態把握に関する調査研究(②ナノ粒子)	7 7
(14)	消費生活に密接した温室効果ガス排出量削減へ向けた手法の検討 －「フードマイレージ」を指標として－<<プロジェクト>>	7 9
(15)	千葉県におけるエコドライブ調査 － 調査方法の検討 －	8 1
(16)	環境放射能水準調査(文部科学省委託調査)	8 3
(17)	低周波音測定調査(環境省委託)	8 4
(18)	自動車騒音対策に関する調査研究	8 6
(19)	騒音振動測定技術支援	8 8

4・2 廃棄物・化学物質研究室

(1)	廃棄物処理法疑義解釈検索システムの構築	9 0
-----	---------------------	-----

(2)	一般廃棄物最終処分場の PFCs の水処理における実態調査結果	9 2
(3)	海水や最終処分場浸出水に含まれる有機フッ素化合物の前処理条件の最適化	9 4
(4)	LC/MS を用いた分析法開発(7)ーイオパノ酸ー	9 6
(5)	排ガス中のダイオキシン類発生源施設の立入検査ー 2009 年度の結果 ー	9 8
(6)	千葉県における環境大気中のダイオキシン類濃度について ー2009 年度の結果ー	1 0 0

4・3 水質地質部

4・3・1 水質環境研究室

(1)	地球温暖化がもたらす日本沿岸域の水質変化とその適応策に関する研究 (その2) <<プロジェクト>>	1 0 1
(2)	非特定汚染源による汚濁負荷の算定に関する検討 (1)	1 0 3
(3)	市民と協働で行った水田による硝酸性窒素浄化調査	1 0 5
(4)	手賀沼の最近の水質 (2)	1 0 7
(5)	高滝ダム貯水池の水質	1 0 9
(6)	高滝ダム貯水池の水質改善に関する調査研究	1 1 1
(7)	新たな指標による河川総合評価手法の検討 (その2) ー「千葉県版」水環境指標の作成と試行調査 ー	1 1 3
(8)	赤潮等プランクトン調査	1 1 5
(9)	東京湾の青潮発生状況 (2009 年)	1 1 7
(10)	底生生物による東京湾の底層環境調査	1 1 9
(11)	飲食店 (ラーメン・中華) の排水等に関する調査結果	1 2 1
(12)	槽外設置型 MBR 法のし尿処理施設における窒素除去	1 2 3
(13)	水産加工業排水の MBR 槽に凝集剤を直接注入した場合のリン除去能	1 2 5

(14) ハノイ市水環境改善理解促進事業（フェーズⅠ）における啓発技術指導・・・127

4・3・2 地質環境研究室

(1-1) 2100年九十九里平野中部における1975年～2100年の累積沈下予測<<プロジェクト>>

—海面上昇・高潮・津波と地盤の沈下の影響把握 その1—・・・128

(1-2) 2100年九十九里平野中部における1975年～2100年の累積沈下予測<<プロジェクト>>

—海面上昇・高潮・津波と地盤の沈下の影響把握 その2—・・・130

(2) 九十九里平野中部における上ガスの分布と地質環境<<プロジェクト>>

—東金市南東部の調査結果から—・・・132

(3) 千葉県における最近の地下水位変動の特徴・・・134

(4) 関東地下水盆の2008年の地下水位・・・136

(5) 千葉県における深層地下水位の現況・・・138

(6) 観測井における孔内地下水の深度方向温度分布・・・140

(7-1) 2007～2008年と2008～2009年との房総半島中・北部の地盤の変動の比較

—精密水準測量の1年間変動量の詳細分布図の作成から—・・・142

(7-2) 2003～2008年と2004～2009年の房総半島中・北部の地盤の変動の比較

—精密水準測量の5年間累計値の詳細分布図の作成より—・・・144

(8) 測距による地盤変動の観測・・・146

(9) 千葉市幕張地域の沖積層の深度分布に関する研究・・・147

(10) 関東地下水盆南東部における観測井の構造と地下水質・・・148

(11) 白子町荊金における1987年千葉県東方沖地震時の地震動シュミレーションと

液状化—流動化被害の発生メカニズム・・・150

(12) 千葉県東金における地震動の特徴・・・152

(13) 房総半島で観測されたやや短周期地震動に関する検討・・・154

- (14) 鉛直高密度地下水質測定による地下水涵養メカニズムの解明の例
 ー下総台地中部八千代市北東部に設置された部層オーダーの
 透水層区分による地下水観測井に基づくー…………… 156
- (15) 下総台地における地下空気汚染の三次元分布調査例
 ー10mメッシュの調査では高濃度汚染部分は見つからないー…………… 158
- (16) 地質汚染調査の問題事例
 ー地質汚染調査機関のレベルアップに向けてー…………… 160
- (17) 地質汚染機構解明調査・除去対策への技術援助…………… 162
- (18) 環境週間における研究室一般公開について…………… 163

4・4 総務企画情報課

- (1) 「オゾンによる植物被害とその分子的メカニズムに関する研究」
 ー可視被害とオゾン濃度との関係ー…………… 165
- (2) 千葉県の環境保全活動団体が担う環境学習の事例研究 I…………… 167

第5章 研究報告編

5・1 大気騒音振動研究室

- (1) 身近な温暖化対策検討事例ーフードマイレージを指標とした
ライフ・スタイルの見直しー<<プロジェクト>>…………… 170
- (2) 千葉県におけるエコドライブ調査（I）ー高速道路における調査結果ー… 178

5・2 廃棄物・化学物質研究室

- (1) 溶融スラグの品質及び品質管理手法について…………… 184
- (2) 生物学的手法を用いた環境モニタリング手法についての研究（V）
ーメダカ胚発生段階におけるダイオキシン類の生物毒性影響についてー… 190
- (3) 有機フッ素化合物の環境汚染実態と排出源について…………… 197
- (4) LC/MS を用いた分析法開発（6）ー11-ケトテストステロンー…………… 204

5・3 総務企画情報課

- (1) 千葉県内の市町村別 CO2 排出量の推定<<プロジェクト>>…………… 211